

切手を集める人のために

(9)



堀内 恵彦

似ているがちがう切手③

小型シートと無目打切手

小型シートというのは一種類あるいは数種類の切手を組み合わせて一枚のシートに印刷したもので普通は一種でも20枚以下のシートは小型シートといわれ

ますが わが国の戦後の特種切手のシートは 大部分がこれに該当します。ここでは一応 普通に売られたものと異なって 特別に作られたものだけに限定します。

写真①②は昭和23年に発行された赤十字・共同募金の切手で 小型シートは無目打 単片は目打付ですからたとえ切り離しても区別できます。しかし写真③の50⁰⁰切手は 単片も小型シートも目打付ですから 切り離すと区別できなくなります。写真④は通常切手の図案ですが 写真にでている無目打のものは「展覧会記念に作られた小型シート」の切手を切りぬいたものです。このような例は ほかにも たくさんあります。写真⑤は昭和24年の「こどもの日記念」ですが 無目打のものは そのとき開かれた博覧会記念の小型シートです。写真⑥もその例ですが このほかにも年賀 国立公園をはじめ たくさんありますが 写真⑦のように 通常切手ですが 発売の時期がちがうため 目打と無目打のあるものもあります。(筆者は元所員 現科学技術情報センター)



① 赤十字共同募金小型シート



② 赤十字共同募金単片 2種



③-1 50円切手 小型シート



⑤ 無目打



目打付



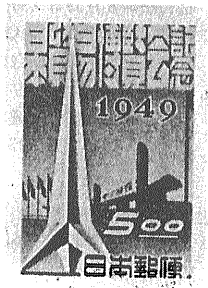
③-2 50円切手単片



④ 女性 通常切手 15円図案



目打付



無目打



目打付



無目打

⑦ 通常切手50円